

保健編3章 教科書p.72-73

5自然災害による危険

1.やってみよう

(例)物が落下する。物が壊れる。家具が倒れる。津波が来る。

2.資料1や資料2を参考に、地震の一次災害についてまとめてみましょう。

(例)家屋が倒壊する。家具が転倒する。物が落下したり、移動したりする。一次災害は建物の耐震性や、建物内の地震対策の有無が影響する。

3.資料3を参考に、地震の二次災害についてまとめてみましょう。

(例)地震によって、津波、土砂崩れ、地割れ、火災、液状化が起こる。二次災害は地域の自然環境も影響する。

4.読み物「釜石の防災教育」を読んで、二次災害についての知識や避難の必要性について、まとめてみましょう。

(例)地震だけでなく、その後は津波が来る可能性を考えて行動する。避難するときは助け合う。避難場所をよく確かめておく。学校の授業や避難訓練で学んだことを生かす。状況を的確に判断して率先避難する。

5.自然災害に対する心構えや対策について、あなたの考えをまとめてみましょう。

(例)自然災害はいつ起こるかわからないので、いつ起きてもいいように、準備をしておく。  
たとえ起きたとしても、決してあわてずに、冷静に行動する。

保健編3章 教科書p.74-75  
6自然災害による傷害の防止

1.やってみよう

(例)家具の固定、食料や水の確保、避難場所の確認、家族との連絡方法の確認、防災訓練など。

2.資料1を参考に、地震が発生したときの行動について、まとめてみましょう。

(例)

①身の安全を確保する。

転倒する物、落下する物、移動する物から離れる。ヘルメット、座布団、かばんなどで頭を守る。

②揺れがおさまったら、安全な場所に避難する。

電車の中などでは係員の指示に従う。転倒、落下の危険がある物の近くは通らない。津波を避けるため、海から離れ、できるだけ高い所に避難する。的確な行動をするために、災害情報を把握する。

3.考えてみよう

①路地

予測できる危険

(例)塀、自動販売機が倒れる。看板やひさしが落ちる。建物が壊れ、崩れてくる。ガラスが割れて飛び散る。店の中から、商品が飛び出してくる。

回避の方法

(例)倒れてくる物、落ちてくる物、移動してくる物から、頭をかばんで守ってうづくまる。

②海岸

予測できる危険

(例)揺れの後に津波が押し寄せてくる。手前の山の中腹の崖が崩れる。

回避の方法

(例)短時間で津波が押し寄せてくる可能性がある場合は、手前の高い建物の上層階に避難する。できれば、右の道から奥の公園まで避難する。

4.資料2と資料3を参考に、災害時に得られる情報はどのようなものがあり、それらを入手するためにどうしたらいいか、まとめてみましょう。

(例)災害時には、気象庁の防災情報や、緊急地震速報などの情報があり、それらを入手するために、テレビやラジオ、インターネットなどを活用することが大切である。